

令和6年2月13日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

会議開催日時：令和6年 2月 6日（火）14：00～15：00

開催場所：ひなたぼっこえびすヶ丘

出席者：

（人数）

利用者	0人	知見を有する者等	1人
利用者家族	0人	地域包括支援センター職員	0人
地域住民の代表	3人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			2

【行政からの伝達事項】

- ・コロナ感染者が増えつつある。引き続き対応をお願いしたい。
- ・4月より介護報酬改定となる。集団指導についてはどのように行うか現在検討中である

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名）

平均年齢 91歳 平均介護度 2.4（1～5）

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・ 新聞折り・塗り絵・体操・下肢訓練・計算ドリル
- ・ うどん会食
- ・ 季節行事～クリスマス会・初詣・百人一首・福笑い

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事 故 6件（転倒～5件・誤薬～1件）
- ・ ヒヤリハット 1件（エレベーター内の事故の危険）

【コロナワクチン予防接種】

- ・ 入居者の方実施

【その他】

○転倒事故について

・特に居室内の転倒事故が増えている。自由に動いていただいているが、90歳以上の方も多く、年々歩行が不安定となっている。その都度対策はしているが、自由に動かれている方を常に見守ることや制限する事は出来ず、ホーム内も広い為対策も限界がある。又転倒リスクが高い方に対し補助用具（杖や4点杖等）も試してみたが、その都度忘れ、新たな物を活用する事が出来なかった。益田市に転倒事故報告しているが、他の施設等で対策として参考になる事があれば教えて欲しい。



(参加者の方より)

・グループホームでの転倒事故は多い。特に居間等職員の日が行き届く場所ではなく、職員がいない場所で起きていることが多い。又巡回と巡回の間の時間帯等も多い。

益田市で年間120件の報告があるが、内70件は転倒による事故である。

・利用者の方、個々の状態を把握しピンポイントで対策を行うと良い。例えば家具の配置を検討する、居室をトイレに近い場所に変更する、眠剤の使用による影響はないか、Pトイレ設置を行ってみる等。

・見守り職員を雇用している施設もある。

・夜間転倒リスクの高い方のリストを作り、センサー使用した場合、同時にセンサーがなった時の優先順位を決めておくが良い。

・施設の中のどこで転倒したか図面化したり、どの時間帯が多いかグラフにし参考にする。

・益田市に益ます元気体操というDVDがあるので、皆さんと体操する時に参考にしてみてもどうか。

○災害時について

・地域で防災組織はある。今後避難訓練等を行う事を考えている。

○地域行事について

・ふれあい祭り開催する。バンド演奏や空手、バザー、ぜんざいやおはぎ・野菜の販売がある。